

病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善

当院では、病院勤務医の負担軽減及び処遇改善のため、下記の項目について取り組みを行っております。

【労働安全衛生委員会の設置】

- ・ 役割分担の確保 他業種との役割分担を定め、円滑な連携体制を確保しています。
- ・ 業務実態の把握と改善 全職種の業務実態を把握し、改善に関する問題について議論しています。

【医師・医療関係職種・事務職員等における役割分担】

- ・ 初診時の予診の実施 事務員・医師事務作業補助者の支援により詳細な問診票の記載を行っています。
- ・ 入院説明の実施 入院支援センターにて予約入院時の説明・支援を行っています。
- ・ 静脈採取等の実施 医師の指示の下、看護師が実施しています。
- ・ 検査手順の説明実施 看護師・臨床検査技師・放射線技師等が説明を行っています。
- ・ 服薬指導 薬剤師が薬の説明・持参薬管理・服薬指導等を実施しています。
- ・ 診断書作成の実施 医師の指示の下、医師事務作業補助者により医師代行を実施しております。

【医師の勤務体制に係る取り組み】

- ・ 連続当直行わない体制 非常勤当直医師を積極採用し、常勤医師の当直回数を軽減しています。
- ・ 勤務間インターバル 出退勤・休憩時間を適切に管理し、十分な休息時間を確保しています。
- ・ 手術前日の配慮 各診療科、定時手術曜日に配慮した当直の割り振りを実施しています。
- ・ 短時間正規雇用の活用 育児休業取得医師への時短勤務調整を推進しています。
- ・ 宿日直許可の受諾 労働基準監督署より宿日直許可を受諾し、負担を軽減しています。



Japan Anti-Tuberculosis Association

新山手病院

Shin-Yamanote Hospital